

厚生労働省

【地域外国人材受入れ・定着モデル事業】

事業概要

■ 事業概要：

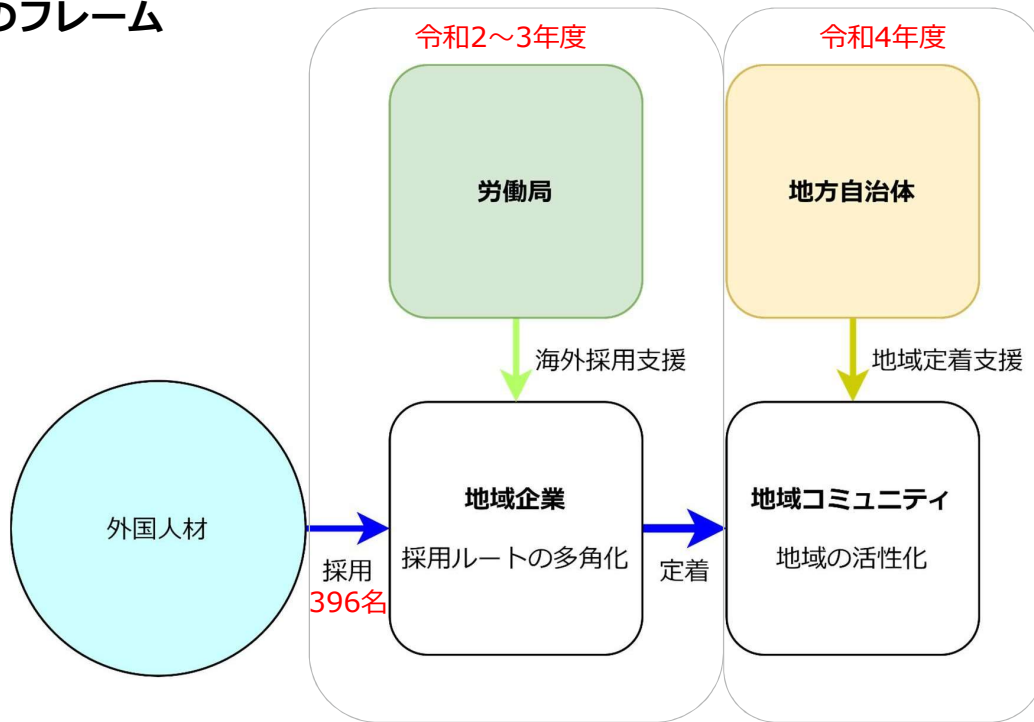
- 厚生労働省は、令和2年度から外国人材が職場や地域で円滑に定着できることを目的とした「**地域外国人材受入れ・定着モデル事業**」を実施しています。本事業の実施に当たり、外国人材の受入れ・定着に積極的な都道府県を公募しました。
- その上で、選定した**5地域（「モデル地域」という。）**と**都道府県労働局が連携**して本事業を進めています。
- 本事業では、国外の外国人材に対する募集・採用の方法や、定着に向けたノウハウなどについての知見を持つ**民間職業紹介事業者（事業委託）**が、「**モデル地域**」における外国人材の受入れから定着までを一貫して支援しています。

事業実施期間	令和2年10月～令和5年3月（マッチングは令和4年3月まで）
モデル地域	北海道、群馬県、福井県、岐阜県、鹿児島県
対象産業	介護、飲食料品製造業、農業

■ マッチング実績：

	契約数
北海道	125
群馬県	53
岐阜県	73
福井県	24
鹿児島県	121
合計	396

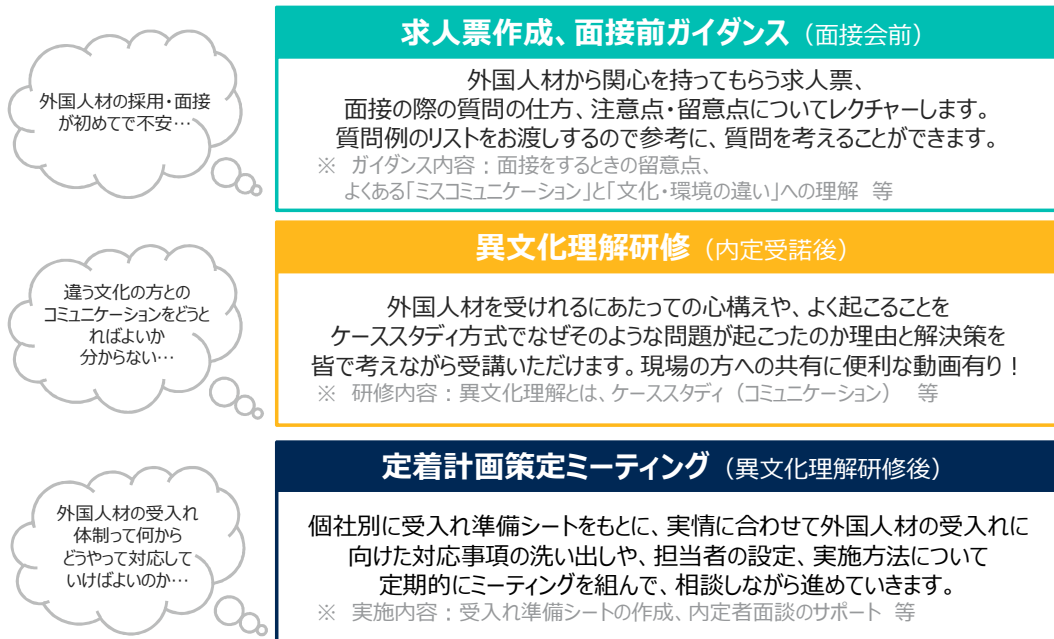
本事業のフレーム



Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

3

企業の定着支援：人材紹介だけでなく将来の外国人採用・活用のためのノウハウを支援



4

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

入国後アンケート（外国人材）

		1か月目			2か月目			3か月目			
		はい	いいえ	はい率	はい	いいえ	はい率	はい	いいえ	はい率	
Q.1-1	a	働くき、日本語がわからなくて困っている	14	55	20%	12	40	23%	5	23	18%
	b	働くき、自分の働きたいことを日本語で話せない	12	57	17%	7	45	13%	4	24	14%
	c	会社の誰に相談していいかわからない	3	66	4%	0	52	0%	1	27	4%
	d	ちと仕事のトレーニングをしたい	39	30	57%	25	27	48%	9	19	32%
	e	休みのスケジュールや働く時間などで困ることがある	3	66	4%	2	50	4%	1	27	4%
	f	キャリアアップする方法が知りたい	58	11	84%	41	11	79%	18	10	64%
	g	日本語や資格の勉強をする時間がない	13	56	19%	6	46	12%	5	23	18%
	h	イメージしていた仕事と違う仕事が多い	8	61	12%	2	50	4%	1	27	4%
	i	よくわからない会社のマナーがある	5	64	7%	1	51	2%	1	27	4%
	j	その他に困っていることがある	6	63	9%	1	51	2%	0	28	0%
Q.1-2	j	“j”についてどんなことに困っているかを書いてください。									
Q.1-1	a	食べ物	10	59	14%	4	47	8%	0	26	0%
	b	買い物	12	57	17%	6	46	12%	0	28	0%
	c	バスや電車の乗り方	21	48	30%	12	40	23%	2	26	7%
	d	近くに住んでいる人とのコミュニケーション	11	58	16%	4	48	8%	0	28	0%
	e	生活に使ったお金	13	56	19%	5	47	10%	0	28	0%
	f	家や部屋	4	65	6%	2	50	4%	0	28	0%
	g	一緒に住んでいる人	5	64	7%	3	49	6%	0	28	0%
	h	宗教や文化の違い	16	53	23%	7	45	13%	1	27	4%
	i	ホームシック・さみしさ	9	60	13%	9	43	17%	4	24	14%
	j	新しい・楽しいなどの気候	9	60	13%	5	47	10%	0	28	0%
	k	身体のこと	3	66	4%	2	50	4%	2	26	7%
	l	日本の生活マナー	10	59	14%	3	49	6%	1	27	4%
	m	その他に困っていることがある	4	65	6%	0	52	0%	0	28	0%
Q.1-2	m	“m”についてどんなことに困っているかを書いてください。									
☆		まえのアンケートをしたときから、なにか ぶんや し				13	38	73%	1	27	52%

N数	外国人材	事業所
アンケート1か月目	69	29
アンケート2か月目	52	23
アンケート3か月目	28	10

業務：
仕事では自身のキャリアに関連するトレーニング量やキャリアパスについて強い関心がある傾向

生活：
バスなど公共交通機関の使い方に関する傾向がある

入国後アンケート（法人）

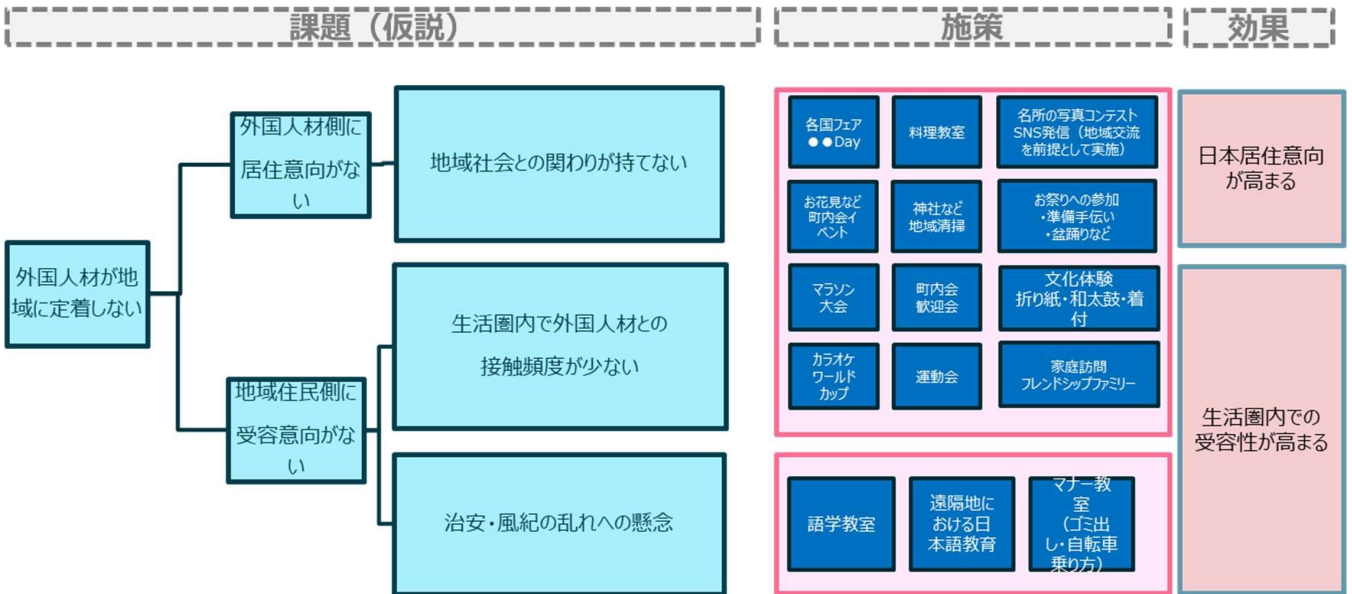
		2か月目		3か月目	
		数	率	数	率
日本語スキル	5 上がっている	2	9%	1	4%
	4 やや上がっている	14	61%	3	13%
	3 変わらない	7	30%	6	26%
	2 やや下がっている	0	0%	0	0%
	1 下がっている	0	0%	0	0%
業務スキル	5 上がっている	8	35%	2	9%
	4 やや上がっている	13	57%	6	26%
	3 変わらない	2	9%	2	9%
	2 やや下がっている	0	0%	0	0%
	1 下がっている	0	0%	0	0%
コミュニケーションスキル（職場）	5 上がっている	2	9%	1	4%
	4 やや上がっている	17	74%	5	22%
	3 変わらない	4	17%	4	17%
	2 やや下がっている	0	0%	0	0%
	1 下がっている	0	0%	0	0%
コミュニケーションスキル（利用者）	5 上がっている	3	13%	0	0%
	4 やや上がっている	12	52%	7	30%
	3 変わらない	7	30%	3	13%
	2 やや下がっている	0	0%	0	0%
	1 下がっている	0	0%	0	0%
4. 前月と比較して、職場での円滑な人間関係を築けているかどうか	5 できている	4	17%	3	13%
	4 ややできている	14	61%	3	13%
	3 変わらない	5	22%	4	17%
	2 ややできていない	0	0%	0	0%
	1 できていない	0	0%	0	0%
5. 前月と比較して、日本人従業員の外国人材への不満や負担が減っているかどうか	5 減っている	4	17%	2	9%
	4 やや減っている	9	39%	2	9%
	3 変わらない	9	39%	6	26%
	2 やや増えている	0	0%	0	0%
	1 増えている	0	0%	0	0%

N数	事業所
アンケート1か月目	29
アンケート2か月目	23
アンケート3か月目	10

月を追うごとに、外国人材のスキルやコミュニケーションが向上していることが裏付けられているが、時間がたつと要求水準も高くなるので、体感の向上率は下がる傾向があることが推測される。

職場の日本人側の考えや業務分担などは、時間がかかる傾向があることが推測される。

地域定着施策の方向性



Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

さつま町 熊田地区での取り組み方針_まとめ

取り組み	外国人材に公民会の構成員（住民）として、活動に参加。その中で異文化交流や関係性構築を行っていく。
実施の目的	<ul style="list-style-type: none"> 外国人材の居住エリア単位での外国人材と地域住民の相互理解 地域の人に地域住民として認識してもらい、受容性を高める 外国人材における、地域のルール・マナー取得 日本の文化や慣習に触れてもらい、地域に愛着を持ってもらう

実施概要	
①	地区で行われる毎月の活動に積極的に参加（異文化交流） 外国人材：地区活動への参加（シフト次第） 料理を作る際に異文化交流としてフィリピン料理のレシピを共有 法人：外国人材に参加の呼びかけ 地域の方：参加のフォロー、説明。活動のなかでの交流、会話
②	ゴミ出しフォロー（資源ごみ） 外国人材：資源ごみの日担当のいる時間に出す 法人：担当がいる旨、時間の共有 （3人別の日に行ってもらって、それぞれが教えてもらえるようにする。） 地域の方：実際のゴミを使って、資源ごみ担当の方より教える ※資源ごみ回収日：水曜日2回(祝日は無し)7：30～
③	その他 生活の中での交流（家庭菜園のサポート、ゴミ出し、交通マナーについて随時声かけなど）

©, All Rights Reserved.